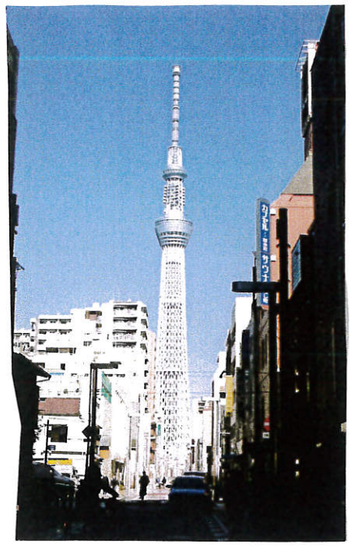
「勝海舟の会」 史跡探訪

～両国探訪～

日時：平成28年2月7日(日)
集合時間：集合10時55分、
集合場所：JR錦糸町駅　北口

今回の史跡探訪は、海舟さんの生誕の地である両国界隈を探訪
能勢妙見堂～海舟さん旧居跡～山岡鉄舟さん旧居跡～江戸東京博物館



錦糸3丁目からのスカイツリー　11:19AM

① 初参加の森さんのご挨拶（駅北口）

大横川親水公園案内図

長崎橋 → 清平橋 → 亀恩寺橋 →

→ 紅葉橋付近にて

P.M. 2:48

〈記念写真〉 江戸東京博物館 前にて
（40名）

勝海舟居住の地 ―旗本岡野氏屋敷跡―

天保二年（一八三一）頃ここにあった岡野氏屋敷は、海舟が誕生した地として出世を果たし、幕末の時代に活躍の場を広げてゆきます。

嶋太郎が世話になった岡野氏は、後北条氏の旧臣新郷上雪を祖とする旗本で、文政九年十二月の屋敷替を経て、同十年三月ころ当地に移住していました。家の経営費を捻出するための屋敷替であったようで、旧知行所に伝わる資料によれば、旧居を担保にお百両の金を用立て、代わりに旧居の本家日比しかない屋敷に移住していたようです。幕府財政はより厳しく由緒ある武家とはいえ、岡野氏の家計は大変逼迫していたのです。このため、幕末激動の時代ともなれば家禄なく、一人扶持の境遇さえ支払えぬ事態に陥ります。

正月に神々へ供えるお餅さえなかったという貧しい家庭に育ったと言います。嶋太郎は、こうした武家明治の厳しい時代に成長し、大きな絵いて力強く生きていったのです。

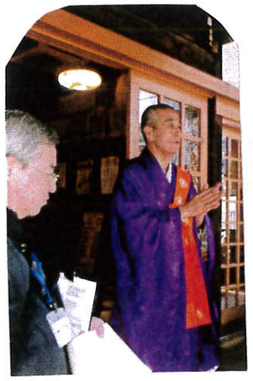
平成二十五年一月

勝海舟（墨田区立郷土歴史博物館蔵）

③勝海舟旧居跡
海舟が8歳から、弘化3年（1846年）に赤坂田町に移る23歳までここ、
本所入江町の旗本岡野孫一郎の敷地で過ごしたようです。

山岡鉄舟旧居跡

④山岡鉄舟旧居跡
所在　墨田区亀沢4丁目11番　竪川中学校内
江戸末期の幕臣(将軍直属の家来)で剣術家、維新後に無刀流の創始者ともなり、
侍従も勤めた山岡鉄舟の生家小野家が竪川中学校の正門あたりにありました。



性誠さんの説明
11:36 AM

②能勢妙見堂
安永3年(1774)能勢頼次は故郷の能勢（大阪府）から妙見大菩薩の分体を移し、
当時ここにあった下屋敷に安置しました。妙見大菩薩は日蓮宗の守護神で、
江戸っ子には開運厄除けの神として信仰を集めました。震災と戦災で焼失しましたが、
昭和28年から15年を費やして再建されました。
勝海舟が子供のころ犬に噛まれて重傷となった居りに、
父小吉はこの妙見堂で水垢離をして息子のケガが平癒することや出世を祈ったころから、
勝海舟晩年の胸像があります。

岡野孫一郎氏の子孫による説明

史跡
「勝海舟揺籃之地」
とバックに勝様
（坂田建設文社長
（緑4丁目）製作の碑）
12:15 PM.

12:45 PM

⑤緑町公園
津軽藩上屋敷跡・江川太郎左衛門屋敷跡・北斎美術館（建築中）

⑥江戸東京博物館

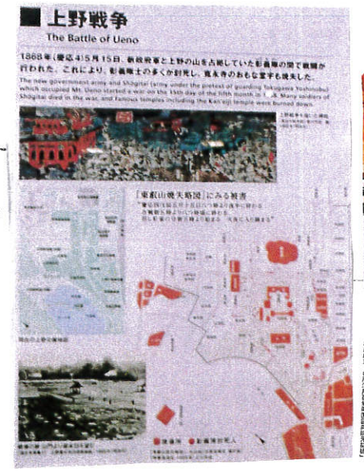
江戸末期の江戸市中（長岡藩中屋敷ほか）

ガイド役の野口さん

〈江戸無血開城〉

パネル展示

PM 1:54



EDO-TOKYO MUSEUM 江戸東京博物館
入館
来館日 2016.02.07
予約団体チケット
常設団体入館
発券日 : 2016.02.06
伝票番号 : 07-00010

懇親会会場

⑦花の舞両国国技館前店　P.M.3:08

制作 28.2.9.（丹治）